



すこやか

苅田町青少年育成町民会議設立15周年記念 特集号

福岡県青少年育成県民会議の配慮のもと、苅田町青少年育成県民の集い苅田大会を開催するにあたり、歓迎のことばを述べた。

近年、青少年を取り巻く行動には、様々な影響を及ぼしている。いじめや不登校、非行の深刻化、薬物乱用の低年齢化、携帯電話やメールなどによる新たな犯罪の多発。児童虐待などによる青少年を巡る諸問題は複雑多様化し、深刻な社会

福岡県青少年育成県民会議は、ほとんどがボランティアでそれぞれの地域・日本・世界を背負つて立つ子どもたちが健全で明るく健やかに育つていくようにと設立された。「大人が変われば子どもも変わる」「地域のおじさんおばさん運動」というで一生懸命力を尽くし

近年、青少年を取り巻く環境は核家族化、少子化、国際化、情報化、と進行を早めしており、青少年の意識は社会を映す鏡といわれています。大人社会を反映したものが、このようなことから県では豊かな心、幅広い視野、それぞれの志をもつたくましい青少年の育成を基本理念として、まず大人が意識を変えよう。うちの家庭教育を作ろう。と12の提案をもとに青少年アンビシャス運動を推進している。

また、福岡県青少年県民会議では、国民会議が提唱する青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば子どもも変わる」をテーマに地域のおじさん、おばさん運動など青少年育成県民運動を展開している。このような運動の成果を上げるために、家庭や地域社会の役割が重要で不可欠なものとなっている。

本日の県民の集い苅田大会は、青少年問題の解決に向けて、一人一人が主体的に行動するきっかけとなるように祈念して実行委員長のあいさつとした。

(関連記事 P2・3・4)



福岡県青少年県民会議
副会長 霧我 直氏



苅田町長兼
苅田町青少年育成町民会議
会長 伊塚 工氏

ている。それぞれの地域の子どもたちが健全で明るく健やかに育つてほしいというのはそこに住んでいる全ての人の願い、希望である。同時に大人達の義務でもある。こうした意味でも苅田町青少年育成町民会議も15周年を迎え、感謝とともにより一層の飛躍を願う。

また、苅田町ではこれから日本を背負つていく子どもたちの教育は、大変重要であることを認識し、教育委員会を中心とした胆な教育改革を行おうとしている。今年度より、全小中学校で、2学期制を試行している。苅田町が採用している2学期制は、とてもユニークで全国的にも注目されている。そのためにも私たち大人が責任を持って、明日を担う子どもたちの健全育成のため、一生懸命がんばらなければならない。



福岡県青少年育成県民の集い 11月21日「苅田大会」開催!

十五周年

祝



えい
苅田町青少年育成町民会議は平成元年にスタートして以来、多くの方々のご支援とご協力をいただき、定着してまいりました。

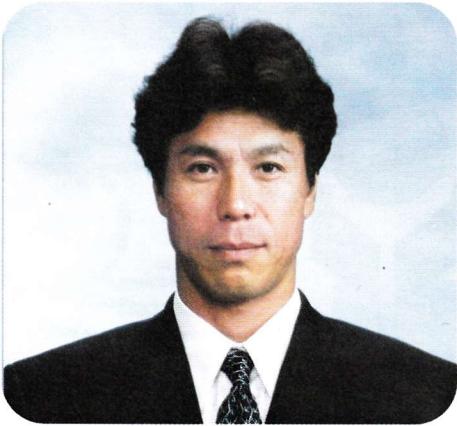
今回の大会は、苅田中央公民館大ホールに大勢の人々が集い、より大きな感動を皆様に発信しました。

秋山幸二氏 講演

演題 『夢を追いかけて』

プロ野球選手時代は数々の偉業を成し遂げ、引退後は野球解説者として活躍。今秋からダイエーホークス2軍監督に就任され、多忙な日々を送られている秋山幸二さん。

これまでの野球に懸けた情熱と体力、これからの抱負、野球上達の秘訣などについて熱く語っていただきました。



秋山幸二 プロフィール

1962年4月6日生
熊本県八代郡宮原町出身

八代高校では投手だったが、81年ドラフト外で西武入団後野手に転向。清原和博（巨人）や工藤公康（同）らと西武の黄金時代を築いた。

94年に交換トレードでダイエーに移籍。

2000年のドラフト外初の2000本安打を達成して名球界入りを果たした。同時に2000試合出場をも達成。

日本シリーズはダイエー・西武時代を含め10回出場し、7度の日本一を経験、日本シリーズMVPをダイエー・西武で2度獲得。

87年本塁打王、90年盗塁王、ベストナイン8度、ゴールデングラブ賞11度、ファン投票によるオールスター連続18回出場。通算2189試合で2157安打、303盗塁。趣味は釣り、ゴルフ、油絵、ビデオ鑑賞。福岡在住。

ない。この時、どうせ野球をやるならメジャーリーグに通用する選手でなくてはと感じ取つた。目標を高く持ち40歳まで選手を続けられたのは、野球留学に行つて、精神的にレベルアップしたことなどとても大きかつた。この世界は、3年続けて成績を残すと監督・チームメント・ファンも一日置いて周りが認めてくれるというのがあって、自分の中で意識していた。次の年からチャンスをもらい、一年間ホームランを40本3年間で120本以上打ち続けた。

ダイエーのトレードについては、やはりアメリカ留学で見た厳しい現実。毎日頑張らないといつクビになつてもおかしくない。ためらわざ即返答した。

「勝ちたい」という希望のうちにチームの建て直しに係つた。99年優勝に導いた。

子どもたちの質問については、守備は、数多くノックをうけて、打撃は、素振りが基本。自分のイメージでスイングをつくる。毎日続けることが何よりも

も大事という答えだつた。
最後に2軍監督という立場、
若い選手を一人でも肉体的、精神的に育て上げ、レギュラーに
送り込みたいと。
やらなきやいけないことに目
標、夢を持つて、続けること、
維持していくこと。練習はとて
もつらく大変。でも何よりも一
番に野球が好きだつたから続け
られたと思う。



RKBアナウンサー鬼橋美千子さんがアシスタントとなり息の合った対談を展開。

オープニングセレモニー 苅田中学校プラスバンド部

- 演奏曲・「TRUTH」F1グランプリのテーマ曲
・ミッキーマウスマーチ
・ロコモーション



オープニングセレモニーにふさわしく会場内が引き締まりました。

カメラスケッチ



「家庭の日・オアシス運動」作品の最優秀賞県入賞者



受賞おめでとうございます。

表彰式

感謝状授与

- ・苅田町少年補導員代表 山田隆さん
- ・苅田工業高校インターラクトクラブ代表 戸成彰子さん



アトラクション「エイサー」

西日本工業大学沖縄県人会



力強い躍动感に魅了されました。



少年の声みんなにとどけ！

「福岡県青少年県民の集い苅田大会」の開催に伴い、苅田中学校と新津中学校の2名の方に「少年の主張」をしていただきました。ここにご紹介します。

友人の力



苅田中学校 3 年
成 英枝さん

友達が学校へ来なくなりました。原因はいじめです。私をはじめ、何人かそのことに気付いていました。しかし、注意したら、その矛先が自分に向くのではないかと、いう恐れから、誰も止める人はいませんでした。

彼女の欠けた三十六人のクラスになつてから、私はとても後悔しました。「どうしてあの時注意することができなかつたんだろう。あの時注意することができていたら、彼女はこんな辛い思いをせずに済んだのに。」と、自分の勇気のなさに怒りすら覚えました。しかし、どんなに後から嘆いても、彼女が学校に来たくても来れない状況にあると、いう現実はどうにもなりません。そこで私は、彼女が早く学校に来られるように、また、学校に来た時、勉強に困らないように、授業の内容を一冊のノートにまとめることにしました。他の友達も、彼女の家を訪ねて励ましたりしたのです。その頃になると、三十六人みんなが彼女の

気持ち、どちらかが一方でもかれるような環境は作れなかつたと思います。この体験で私は、改めて友達の力を感じました。人は常に友達に助けられていたと思います。

私は、人前に出る機会が多いのですが、あがり症で言いたい事を忘れたり、噛んでしまいます。そんな緊張している時、友達が声をかけてくれるだけで気持ちが楽になります。そして友達の大切さを再認識します。人は一人では生きていくことが出来ないと思います。それを身を持って感じさせてくれるのがけんかです。ささいなことでもめ合つて、友達から離れてみた時、自分一人では何もできなことがあります。そして、それには気がつくと、自然に仲直りすることができます。けんかは、友達の大切さを再認識するという意味で、必要不可欠なのがもれません。

これからも、友達を大切にしたいと思います。また、人を思いやることのできる、人から頼られる人間になりたいです。

そして、3学期の始業式の日、
 彼女が久しぶりに教室に足を踏
 み入れました。およそ半年ぶり
 に三十七人全員が揃った瞬間で
 した。私は、あのときの喜びを
 今でも覚えていります。

多分、彼女の「学校に行きた
 い」という気持ちと、クラス全
 員の「彼女が早く学校に来られ
 るようになつてほしい」という

大切な人たち



新津中学校 3年
泉 里佳さん

——おまえが転んで起きあがるまで待つから。走る速さをゆるめても、一緒に走つてやるから。——

これは以前、私が受け取った電子メールの一部です。私は中学二年の時、人間関係のストレスや、与えられた仕事をうまくこなせないといったジレンマから精神的に行き詰まり、人間不信に陥つたり、身の回りのものを泣きながら壊したりしていました。そんなときに先輩が送つて下さつたこのメール。悩みつかれていた私は目の前がぱつぱつと明るくなるのを感じました。何をくよくよよんでもいたのだろうかと、気持ちも楽になりました。少しすつ状況も見え始めました。そして今は日々、明るく過ごせています。あの時、このメールを受け取ることができて良かったと心から思っています。

その先輩はその後も、私が落ちこむたびに相談に乗つてくれ、「お前は一人でためこみすぎや」、「もつと周りを頼れ。」など、いろいろな助言をしてくれます。そんな時は、自分のことと一緒にかけてくれる人がいることが、とても嬉しく思います。

そんな私を理解し、支えてくれる仲間が他にもいます。同学年の七人の友達です。今までどんなに助けられ、励まされたかわかりません。たとえば、中学二年の時、こんな事がありました。生徒会の役員をしていた私は、総会の原稿を自分なりに一生懸命仕上げ、担当の先生に点検していただきましたが、全て書き直しをするように言わされました。精一杯仕上げた原稿だったのですが、それはとてもショックでした。私はどうしていいかわからなくなり、うな

が不器用で、物事をマイナスに考え、すぐ落ちこんでしまうタイプです。友人達はそんな私の性格をよく理解して、時にはあたたかく見守り、時には他のことで笑わせてくれ、又時には厳しく叱ってくれます。こんな仲間がいてくれたから私は、そのとができたのだと思っています。私を支えてくれる先輩や友達に心から感謝しています。卒業して、たとえ進路はそれぞれ違つても、このつながりは絶対に切ることはないでしよう。

皆さんには、大切な人がいますか？皆さんにとつて大切な人とはどんな人ですか？私はとつて大切な人達は、ありのままの私をあたたかく受け入れ、励まし、勇気づけてくれる仲間達です。そんなかけがえのない仲間達の中で私は、背のびすることができます。自然な自分でいることができ、そのときの私は心からの笑顔が絶えず、ずっとこのままいたいなあと、幸せな気分に浸つていられます。

しかし、これから先、こんなに都合のいいことばかりでないこともわかつて、います。周囲に頼らず、たとえ一人でも乗り越えていかなければならない場面が出てくるでしょう。だから私はこれから、困難を乗り越える強さ、たくましさを身につけていきたいと思います。今はまだ、大切な人達に支えられてばかりの私ですが、いつの日か「あなたは私にとつて大切な人」と言つても、うるるよう、まわりとのかかわりを大事にしながら生きていきたいと思います。

だれで職員室を出、階段のところでうずくまり、泣いていました。そこを偶然七人の友達が通りかかり、声をかけてくれました。そこで私は皆に何があつたかを話しました。皆は黙つて私の話を聞き、「先生の言つたことを自分の言葉で書いたらどう?」「自分の考えでいいじやん。何か言われたら私も言つてあげるから。」と明るく励ましてくれました。

10月31日

第4回子どもフェスティバル開催

場所: 莢田町総合体育館

主催: 莢田町子ども会育成連合会

目的

子ども達に夢と快い居場所、また、これから新しい一步の原点であって欲しい！…と
頑張った子どもの祭りでした。年々新しい企画を単位子ども会や育成会長、イン・ジュニ
アリーダーと共に頑張りました。



自分達で作った空き缶のおみこし!…

お母さんの手を借りて竹とんぼ

育成会長の一言

- 最初は大変かと思っていました。してみれば楽しく最後まで出来た事が嬉しかったです。
- 家では使った事のないビデオや16mmの器機が動かせた事が嬉しかったです。
- 子どもへの不安があったが、フェスティバルを通してなくなった。又、やってみるとスムーズに出来て楽しかった。
- 協力し合った事が良かった。
- おばけで子どもとムキになって接し楽しかった。

子ども達の喜ぶ顔が大人の心を豊かにしてくれた様ですね。
子ども達よ！ありがとう！

※伝言・健全育成部より

1月8日(土)「菖田町子ども会カルタ大会」問い合わせ……菖田町子ども会育成連合会
会長 田口朝子 携帯 090-4589-3200

1月30日(日) 中島 宏先生を呼んで「親子であそぼう！」問い合わせ…町民会議まで
TEL・FAX 434-9838 (直通)

補導環境部会視察研修

朝の声かけ運動

には8施設あり、佐世保学園は男子少年院で、医療少年院を除き男女それぞれ別に施設が設けられています。

少年院は矯正施設の一つではあります、それは教育として行われ、少年を社会生活に適応させるための教科教育、職業補導、生活指導等が行われています。また、入所期間は少年の非行具合に応じて「短期処遇」と「長期処遇」に分けられ、佐世

保学園には「学園」の名称からも判るように、収容期間が6ヶ月以内の早期改善の可能性が大きい少年が収容されています。

佐世保学園では保健体育に力を入れており、当日もグランドで一生懸命サッカーボールを追っていました。なかでも特色ある教育として、全国で唯一、波静かな佐世保湾に面した立地を生かし、カッターラー訓練を週2回行っているとのことでした。

施設見学の途中、私達の呼びかけに対し生徒より明るい元気な返事がありましたが、周囲の整えられた清潔な環境もあってか、思いも懸けず清新な感想を持ち、研修を終了することがで



きました。



苅田町青少年育成町民会議では、10月15日と19日にいじめ防止強調月間の一環として、児童・生徒の登校時間を対象に朝の声かけ運動を実施しました。ちょっととうつむき加減にはにかんで歩いてくる子どもたちに「おはようございます」を言うと……なんともいえない笑みがニコッと返ってきます。とても嬉しく和やかな気分になりました。

オアシス人形劇

毎年、子どもたちを楽しませてくれる、オアシス人形劇。6月29日、すみれ幼稚園（園長 和田健一郎）に来てくれました。

子どもたちは、わらべうた、手遊び、絵本、人形劇などなど、次々出てくる出し物に大喜びでした。

『オアシス』のことばの意味も学び、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

最後にお礼の気持ちを込めて、子どもたちから歌のプレゼントをしました。



マザーグースのお話会の皆様ご協力ありがとうございました

危険を知ることが、身を守ることにつながる。



行動範囲がぐっと広がる時期は、大人の目の届かないところで事故や事件に巻き込まれる場合も少なくありません。

大切なのは、子ども自身が何が危険なもののかを知っておくこと、危険を回避する方法を身につけておくことです。「家の前の道は日中は車が多いから子どもだけで歩くのは危険。ちょっと遠回りになるけれど、車の少ない安全な道を通って遊びに行こうね。」というように、子どもがわかるように、何度も伝えられることが大切です。

こうしたやりとりの中で、子どもは危険なものを知り、どう回避するかを学んでいきます。

また、思いがけない危険もあります。例えば、見知らぬ人からイヤなことをされそうになったときには、どうすればよいかを教えることが大切です。

収穫 晴天の下 充実の稻刈り！

与原小学校 5年生



田植え 稻刈り もちつき

地域の方と「米」について学んでいます。

与原小学校5年生は総合学習の一環として「米」について調べてきました。十一町一町にはその取り組みの一つとして、稻刈りを行いました。六月四日に自分たちで植えた苗が立派に成長し、今度はまた、自分たちで収穫しました。応援にきてくれた保護者の人たちと触れ合いながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。

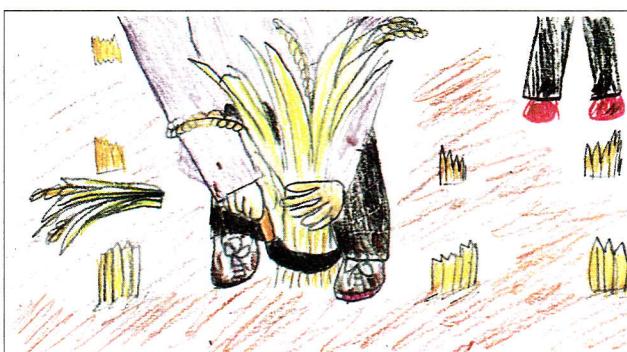
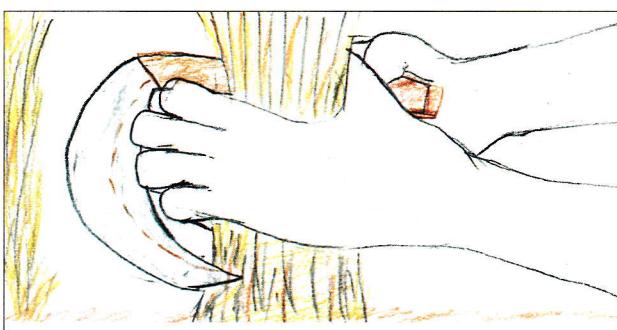
田んぼは地域の増田さんに貸していただき、日頃の手入れは地域の堀さん一家のお世話になりました。今年は台風が度重なって襲来しましたが、幸いにも稻は倒れたりしなかったそうです。いつもの年よりも収穫が少なかったようですが、6畝の田から4.5俵のもち米がとれました。

刈り取った米は農協で精米していただき、パンジー一月には残っているもち米を使ってもちつきを行い、全校生徒に配るよう計画しています。

そのときは地域の年配の方々を招いていろいろ教わりながら行う予定です。



《子どもの感想より》 いねかりをしたあとの作文と絵です



今日、いねかりをしました。いねを刈る時の注意を堀のおばちゃんから聞いて田んぼの方へ向かいました。はじめは刈り方がうまくなかつたけど、だんだんコツがわかつてきて、はじめよりかは速くなつてきました。

持つまつはなるべく上へんを持って刈つた後が少し斜めになるようにします。

おばちゃんがやつている時は「簡単そうだな」と思つていただけどぜんぜん楽でも簡単でもなかつたです。いねを全部刈り終わつて持つていき終わつて足元を見たら靴がドロまみれで、ズボンもドロがたくさん！頑張つた証拠だと思います。



南原小3年 後藤啓太



白川小2年 百武寛将



片島小1年 出口雄也



南原小2年 末松万由子



荔田小6年 石井里沙

言えたかな 心にひびく ありがとう
あいさつで やさしいきもち つながるね
あいさつは 今日をはじめる 第一步
ありがとう 言えばつたわる いい気持ち
おはようの あいさつひとつで 町変わる
あいさつは 笑顔が出てくる じゅもんだよ
ありがとう くすぐったいけど いいきもち
ありがとう いわれたぼくも ありがとう
あいさつで 笑顔があれば うれしいな
あいさつで 生まれるあなたの その笑顔
「おはようございます」 朝一番の声の華
「おはよう」の 一つで変わる 朝の町
今日もまた「おはよう」あいさつ だれにでも
すみません 言える自分に 拍手を送る
あいさつで くもった心も カラット 晴れる
おはようで 気持ちを伝える 朝一番
ありがとう その一言で こころが和む
おはようの その一言が うれしいね

与原小5年	木原	卓哉
苅田小2年	中野	友貴
片島小4年	服部	良太
南原小6年	岩田	朋子
馬場小6年	倉光	玄貴
苅田小4年	中野	彰恵
馬場小3年	大神	健吾
与原小5年	宇並	眞央
白川小4年	百富	安櫻
苅田中3年	伊藤法理子	
苅田中3年	高須賀有里	
苅田中3年	成	英枝
苅田中3年	木村	光希
苅田中3年	有松	貴史
苅田中3年	中村龍太郎	
苅田中3年	大西	耕博
苅田中3年	村田	翔平
苅田中3年	今宮	孝樹

一 標語・ ポスターの部



新津中3年 飯山成美



新津中2年 宮廻潤子



新津中2年 松本純佳



新津中2年 佐伯志穂

「オアシス作品」入選者

1年生	片島小 まつとも ななみ 松本 七海	南原小 まつだ あやか 松田 彩花	刈田小 よし田 まい 吉田 舞	南原小 いたなに まさか 板谷 真孝	南原小 やまもと みき 山本 美樹	与原小 まるた かおり 丸田 香	与原小 おおくぼ ひかり 大久保 光	与原小 おだ りょうへい 小田 涼平	白川小 いもと みゆ 井本 みゆ
2年生	馬場小 しらいい ゆうか 白石 侑華	刈田小 ふじた りょうへい 藤田 凌平	馬場小 うえだ ちひろ 上田 千尋	与原小 みよし ひなこ 三吉 雪子	与原小 きのした 木下 ななみ	与原小 おおつか ゆうき 大塚 悠貴	与原小 おだ てつや 椎野 徹也	刈田小 もだら なおき 本村 尚喜	南原小 ないとう ゆま 村田 真
3年生	馬場小 おかもと まりな 岡本 真里奈	馬場小 おだ なつき 小田 夏希	南原小 うえいみず あかね 上清水 茜	刈田小 わたべ かえで 渡部 楓	刈田小 たなか みゆ 田中 美有	与原小 うえだ まりな 上田 真里那	与原小 はまだ すみれ 濱田 すみれ	馬場小 まつだ かずき 松田 和樹	南原小 よねだ さやか 米田 沙弥香
4年生	南原小 ちよまる ゆみ 千代丸 祐実	刈田小 とみた ゆうき 富田 雄紀	刈田小 かわた ゆい 川田 唯	刈田小 すどう あい 須藤 愛	刈田小 くらち れな 倉地 玲那	与原小 みやざき ゆうだい 宮崎 裕大	与原小 ふくはら たくや 福原 琢也	馬場小 やすだ たけし 安田 孟史	与原小 ふじわら まこ 藤原 真子
5年生	馬場小 ひろせのりこ 廣瀬 理子	馬場小 かわづ あやか 河津 香音	馬場小 おだ ゆかり 小田 由佳理	南原小 くわはら ゆき 桑原 由貴	与原小 ますだ ゆり 増田 有莉	与原小 ささはら あすか 笹原 明日加	与原小 おおまつ ゆきほ 大松 幸歩	与原小 おおはら ふみか 大坪 史果	与原小 ながお まさこ 長尾 理子
6年生	刈田小 いづみ ひろゆき 泉 弘幸	与原小 なかむら ゆき 中村 有希	与原小 しおや かな 塩谷 香奈	与原小 にしだ きょうこ 西田 恭子	馬場小 やすだ はるみ 安田 暖美	馬場小 ひろせ あきこ 廣瀬 晶子	片島小 いのうえ しおり 井上 詩織	南原小 むかい ゆうた 向井 優太	白川小 おおくま としひろ 大隈 稔弘
中学生	刈田中2年 よしだ かすみ 吉田 香純	刈田中3年 おだ あおい 小田 葵	刈田中3年 本村 千聖	刈田中3年 ひまと こ 廣本 かな子	刈田中1年 いわだわ あや 岩谷 綾香	刈田中3年 たかどり えみ 高取 絵美	刈田中2年 こやなぎ みき 小柳 美希	刈田中2年 さかとと ほ 坂本 納穂子	刈田中1年 あらかわ ちはる 荒巻 春千

—書道の部—



(編集委員 梅本 宏

ことを感じています。

奈良県でのいたましい事件もありました。安心して子どもが過ごせる環境をつくろうとしていくことが大切だと思います。また、「自分の身は自分で守る」「危険を回避する」ような方法を子どもに身に付けさせることも必要になつてきています。

「不審者」「変質者」の出没の多さです。今年は六月くらいまでは少なかつたのですが、最近また増えてきているようです。

早いもので一年が終わろうとしています。振り返ると一月の大雪、夏の猛暑、何度もやつてくる台風などさまざまなことがありました。「地球温暖化」「異常気象」が毎年のことになつてゐる気がします。

編集後記